

新文

平文 (海軍省ヨリ廻付)

緊急電報

昭二、一、七、六

① 次官

② 宮古島警備隊

第〇五二〇三〇番電

卷第二十八師團長

先島郡島ノ内石垣島ニアル部隊(陸軍二八名海軍三三三
 名)ノ食糧ハ十二月中旬以後支へ得ザル情況ナリ依ツテ十月
 中宮古大東島向テ豫定艦船全部ヲ石垣ニ差向ケル如ク至急配
 慮アリ度陸軍次官ニハ列ニ同文電報セリ

③ 終

終戦連終事務局報第八三號一五〇受 昭和二二課

在外日本國陸海軍人ノ身分保有ニ關スル件

首題ノ件ニ關シ曩ニ終戦處理會議決定ニ基キ別添
ノ通りノ口上書口ヲ作製シ最高司令部 G II コソソシ大
佐ニ對シ會禰中一部長ヨリ提出スル處 上月三十一日 G II ノス
テイル口上書大佐ヨリ同部長ニ對シ 在外日本國陸海軍人ノ武裝
ヲ解除セラレタル部隊ニシテ軍人ニ係屬スル一般市民ニ
モ非サルモノナリ勿論軍人ノ身分階級ヲ保有スルノコトヲ
部隊トシテノ規律ノモ有スルモノニシテ日本ニ歸還ノ上ニ
員スルコトナリ 従ツテ日本側ノ申入ノ同意ナル旨 回答セ
ルヲ以テ右ハ答書ニテ 回答アリヤト訊ケタル處 其ノ必

1100

0943

要
旨
附
言
セ
リ
左
口
頭
之
回
答
ヲ
以
テ
正
式
ノ
モ
ト
認
メ
テ
レ

以上

0944

別紙

在外日本陸海軍將兵ノ身分留保ニ關スル覓書
目下日本本土以外ニ在ル日本陸海軍將兵ノ撤收完了ニ相
當ノ期間ヲ要スヘシ是等將兵ノ在外中竝ニ帰還ノ
途次ニ於テ其ノ秩序アル行動ヲ保證センガ爲ニハ武装
解除後ト雖モ職員 (civilian) トシテノ彼等ノ身分
ヲ留保シ以テ彼等ヲ軍ノ監督並規律下ニ置キ在
外中竝ノ國途中ノ其ノ行動ヲ完全ニ統制スルヲ便
トス
聯合軍ガ上記ノ處置ヲ承認セラルコトヲ希望ス

0945

終戦連絡事務局第八五號
ロ九二五受

甲ニ
務一
保六

日本帝國海軍人員、一部復員延期件

聯合國最高司令官發、日本政府宛復員書

終戦連絡中央事務局經由

A G 三八八、三 (昭和三十年十一月一日)

一、貴政府發 N D 一九九號(十月二十二日附)首題ノ件復員書参照

二、前記参照復員書ニ述ベアル海軍保安隊五千五百名ノ復員延

期ノ申出ハ之ヲ承認ス

該保安隊ハ同隊員ガ目下監視中、海軍所有物ノ引渡完了

ト共ニ復員スベシ

三、各地域毎復員完了セバ復員完結ノ期日ヲ示ス報告ヲ當可

0946

令部、文、操、三、スベシ

被命

高級副官輔佐官

H W アレン大佐

0947

有未機關報第三二九號

完本一
倉田〇、三
少大〇
佐佐ヨ
受リ

軍昭ニ
〇

務一

課六

新妻少將出頭要求、化學戰ニ關スル情報、第六軍
勤務技術者ニ關スル情報、軍事調査人員ニ關スル
報告督促ノ件

一 療調團一ドロッヂ一 大尉

○新妻少將

○五廿一四〇〇一

○三三八號室

○先般願書大尉ニ交付セル覺書ニ就テ

○駐一兵備隊馬取班擔任一海綿澄一覺書ハ翻譯配布済一有機報三二

一〇一號

三石記登促ア

0948

○化學機關關係情報（有機機第三〇〇號）

（註）軍事諜探任

○第六軍勤務技術者（有機報第三一五號）

（註）兵本擔任

○軍事調査人員（有機報第二五七號）

（註）軍事諜探任

有末樓臨報第三二八號

完滞一
倉倉一
少中
佐佐二
受ヨ五
リ

昭和二〇
一
六
課

「カトリック」 神父殺害ニ關スル報告要求ノ件

聯合軍司令部第二課情報部長發

日本政府宛

(昭和二十年十一月四日)

軍司令部ハ「カロリン」「マートンヤル」「マリアナ」諸島ニ於テ下

「カトリック」 教神父カ日本軍ニヨリ殺害セラレタリトク報告ニ接

タリ即チ「カトリック」 教神父「エリアス」(Alias)「マリノ」(

「エスプリエラ」(Espridela)「エヌヌロ」(Blanco

「フランシスコ」(Francisco)「ヘルナンデス」(Hernandez)

「ヴィラ」(Villar)以上七名トス

0950

神父「...」(Flower) ... 亦「ロタ」島ニ於テ日本人ニヨリ

被害セテ「タリト」報テリ

之等ノ告發ニ就シ日本政府ニ於テ調査ノ上官司令部ニ報告スヘシ

依命

... P. マンソン大佐

(註) 調査擔任帝國海軍(連絡隊)

0860

0951

有木機南報第三三三〇號

完一三三〇五才多ヲ依テ

軍一

希

課六

兵本關係將校出頭要示ノ件

「爆車調査団「ラクレグ」技師」

○兵本提供ノ一九四一年及至四五年間兵器生産狀

況調査表ヲ熟知スル將校

○七日 一〇〇〇

○三六五号室

○前記調査表ニ關スル質疑

註 兵本擔任 (連絡指)

0952

有米概報第三四號

一六五ヲ島大佐ヨリ
宛倉ウ佐受

昭ニク
軍

務

探

作戰計畫提出要求ノ件

一聯合軍司令部ノ要求 (マニソンニ大佐署名)

○支那事変ニ対スル帝國參謀本部ノ作戰計畫

○支那 滿洲 蒙古ノ軍用地圖 各三部

註 參本殘存整理部第一部班ニテ處理煩度

(連絡済)

0953

參謀本部

平文 (海軍省ヨリ廻付)

昭二、二、七

緊急電報

◎ 宮古島警備隊

◎ 官次官

第〇五二〇三〇番電

発 第二十八師團長

即 是

先島郡島ノ内石垣島ニアル部隊(陸軍二八六名海軍二二五三名)ノ食糧ハ十二月中旬以後支へ得ザル情況ナリ依テ十月

中宮古大東島向ケ豫定艦船全部ヲ石垣ニ差向ケル如ク至急配

慮アリ度陸軍次官ニ別ニ同文電報セリ

終

0954

參謀本部

略號至急電報

宛 次官

鎮西參電第五二八號

西部軍管區參謀長(福岡)

二月二日
五二八〇
六〇三五六

九州派遣團長ヨリ

西部軍管區司令部ノ終戰業務ハ順調ニ進捗シテ
速カニ處置ヲ要スル事項左ノ如シ
尚申矣ニ於テ

一 伍世保ヲ除キ各上陸地トモ検査實施ノ新設積立カ 焦眉ノ問
題タル問題(厚生省ヨリテ強カニ促進セヨラレ度)

尚差當リ尚面検査促進ノ爲 D.D.Tノ交付方聯合軍司令部ニ交
涉ヲルルト夫ニ軍トシテモ野戰消毒車ノ蒐集交付ニ関シ研究相成度

二 引渡軍需品ノ監視要員及上陸地支局ノ下士官兵(列任文官、雇員
傭人)ノ確保(シユツ)ニ関シテハ最モ苦慮シタル實情ニ監ミ之ガ
(分然)

0955

身分取扱特ニ待遇給與等ノ向上ニ関シ研究示達セラレ度

三 軍需品計渡ハ約一割完了セシ程度ニテ弾薬等ノ処理就テ現地

聯合軍ハ依然迄没テ固持ナルニ付過般來ノ聯合軍司令部ニ對スル

諒解取付ニ被進シ速カニ示達方取計ハレ度

四 配船計畫未達ハ現状上止ム得サルモノナルベキモ尙一層速カナラシム

ル様配慮相成度

五 上陸地支高ニ派遣ス留守業務部人員ハ一日名程度トスル如ク指導アリ

度(現在二名程度ニテハ不足ナルニ付)

六 仙崎門司間ハ目下無線連絡中ナルモ二三日中ニ仙崎个東京

間ニ直接交信ヲ開始スル如ク器材ヲ配置スニ付東京側ノ諸元

等連絡アリ度

陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部

(終)

參謀本部

平文(海軍省ヨリ廻付)

昭二〇二一七

至急電報

海一九二

着福岡地方人事部長佐鎮長官博多武官
報軍務局長

第〇五一〇〇番電

六日二〇博多着予定便乗者一九九名(陸軍一三七
内患者一二七海軍軍傷六〇其他二)收容手配連絡
方御願ス

(封)

0957

平文 (海軍省ヨリ廻付)

昭和三十七 7

至急電報

④ 擇 促

③ 着 軍務局長 佐鎮長 官 吳鎮長 官

② 報 鹿兒島復員收養部支部

第 〇 五 〇 八 三 七 番 電

人員、搭載終了 内地人三名 (海軍士官一、陸軍下士官

二) 台湾人一九六名 (海軍軍属八〇、陸軍軍属五九、

一般五七) 計一九九名 燃料補給次第鹿兒島ニ向ケ出

港ス

⑤

0958

平文普通電報

宛 法 作

朝鮮電第五三三號

朝鮮電第五三三號

三三三

二十月四日博多上陸ノ部隊ヲ以テ第五航空軍ノ北
緯三十八度以南部隊全部ノ輸送ヲ完了ス
二十月四日現在在濟州島六輸送部隊約一三〇
〇〇ニシテ五日四二〇〇名及六日四〇〇〇名ヲ輸送シ
最終船團八九日若クハ十日頃入港ノ予定ナリ
通電先次官、外務次官、博多、京城、金山連絡所

録

0959

左記

一 港灣並ニ揚陸施設ハ進駐軍ノ命ニ依リ鹿見島ヲ使用シ
得ズ加治木ヲ使用シテリ極シテ不良ニシテ冬期ニ於テハ施設ノ
關係上港灣ノ使用ハ著シク制限セラル

二 收容施設ハ約一五〇人分ノモノヲ有スルモ海岸ヨリ約三十分
行程離隔シ道路ハ防波堤上ナル爲挾隘不良ニシテ自動
車道路トシテノ改修ハ不可能ナリ

三 揚陸海岸ニ近ク收容シ檢疫等ノ施設ヲ實施ノ餘地ナシ

四 附近ニ檢疫ノ爲使用シ得ル施設ナク現況ハ僅カニ噴霧器ニ

0963

依リテイノミナリ

正に現島ハ、戰災及長期ノ風水害ノ爲メ宿營セシムベキ給養
品特ニ副食物ノ取得困難ナリ尚寄港セル艦艇ハ出發
準備ノ爲メ廣ク廻航シツアレテ運航上ノ見地ニ於テハ鹿
見島ニ上陸ノ意味トシ

0964